

“好循環のうねりを生み出す”
新しい総合計画

(第8次敦賀市総合計画)

令和6年3月
敦賀市

地域ビジョン(基本理念)

- 現在、我が国は急激な人口減少に直面しており、本市においても、今、この課題に対する対策を打たなければ、将来の地域の維持・発展に大きな影を落とす、看過できない状況となっています。
- この難局を乗り越えるためには、様々な政策分野での取組を連携させ、敦賀で生まれた子どもたちが、敦賀で育ち、敦賀で働き、そして次代の子どもを産み育てていくといった好循環のうねりをつくることによって、地域経済をはじめとした敦賀のまちそのものを一步一步、発展させていくことが求められています。
- このため、まちづくりの源泉となる「人口」について、敦賀の力を結集し、みんなで人口減少対策に取り組んでいくことを目指し、次のことを地域ビジョンとします。

『好循環が継続する、
発展し続ける地域』

定住志向の上昇



婚姻率の上昇



雇用の創出



若年層の定着

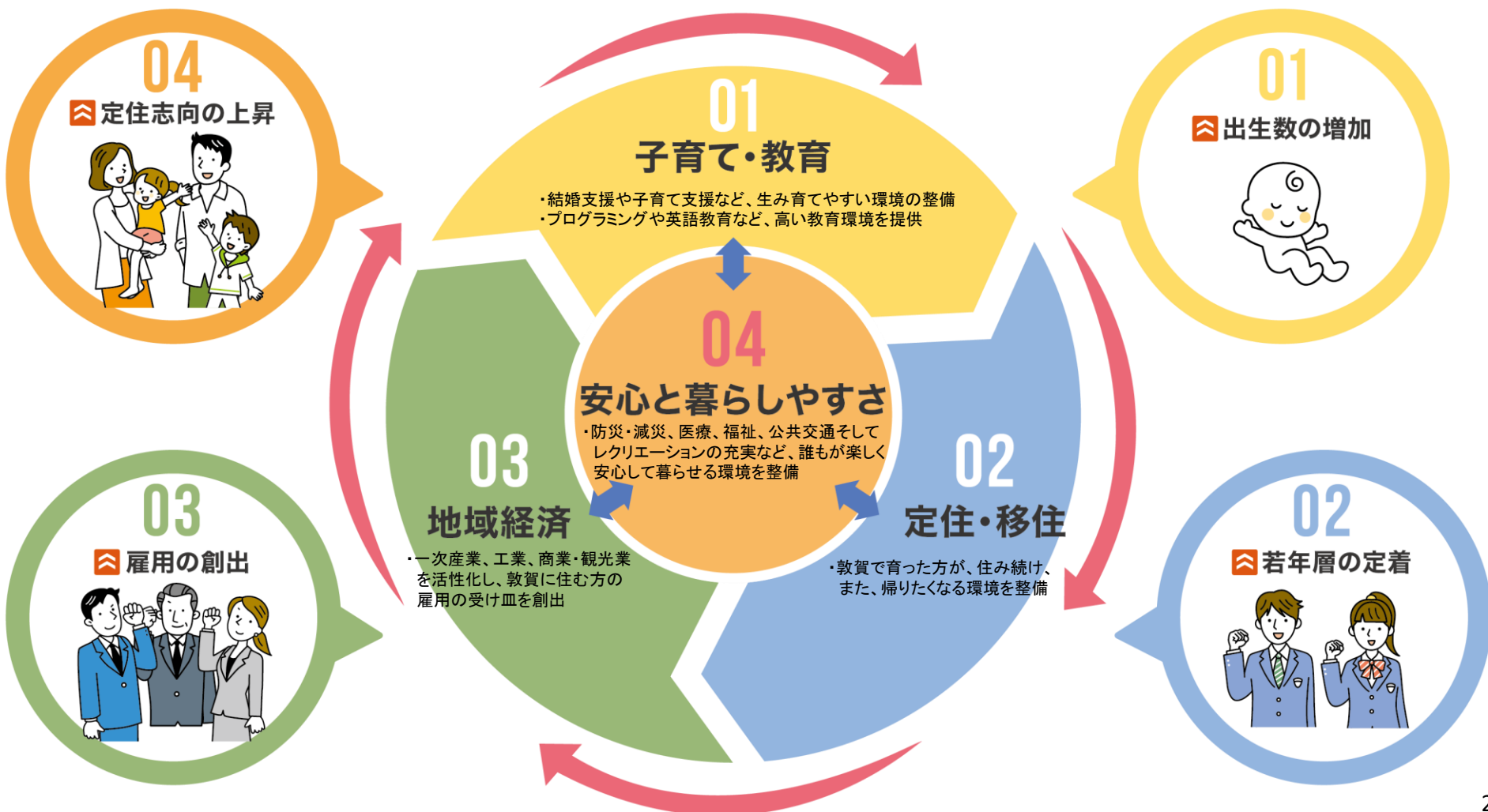


出生数の増加



計画の体系(好循環モデル)

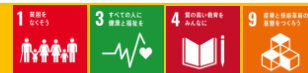
- 新しい総合計画では、『人口減少』を計画全体の政策課題としています。
- この計画体系として、これまでの政策分野毎の階層モデルを一新し、各政策分野が連携し、人口減少対策を推進していくという、みんなで共有しやすいストーリーを設定しています。
(好循環モデル)



政策テーマの方向性

- 新しい総合計画では、以下の4つを政策テーマとしています。
- この政策テーマは単なる政策分野の分類ではなく、人口減少対策に向けたストーリーを構成するライフステージごとのまとめりとして機能し、それぞれがつながりをもって連携しています。

1 子育て・教育



結婚支援や保育所定員の見直しをはじめとした子育て環境の充実、プログラミングや英語等の教育環境の充実などに取組み、結婚～出産～子育てまでを一貫して支援することで、生み育てやすい環境の提供を目指します。

2 定住・移住



社会減の主要因である進学・就職期をメインターゲットに、本市の未来を担う子ども達が、敦賀に住み続けることができる環境や、U・Iターンしたくなる環境を整えることで、定住・移住の増加を目指します。

3 地域経済



敦賀港や北陸新幹線等の敦賀のポテンシャルを最大限活かした企業誘致や稼ぐ観光を推進し、付加価値の高い仕事を創出するとともに、敦賀製品の販路拡大など、農林水産業に新たなビジネスチャンスを生み出すことで、定住・移住者の雇用の創出を目指します。

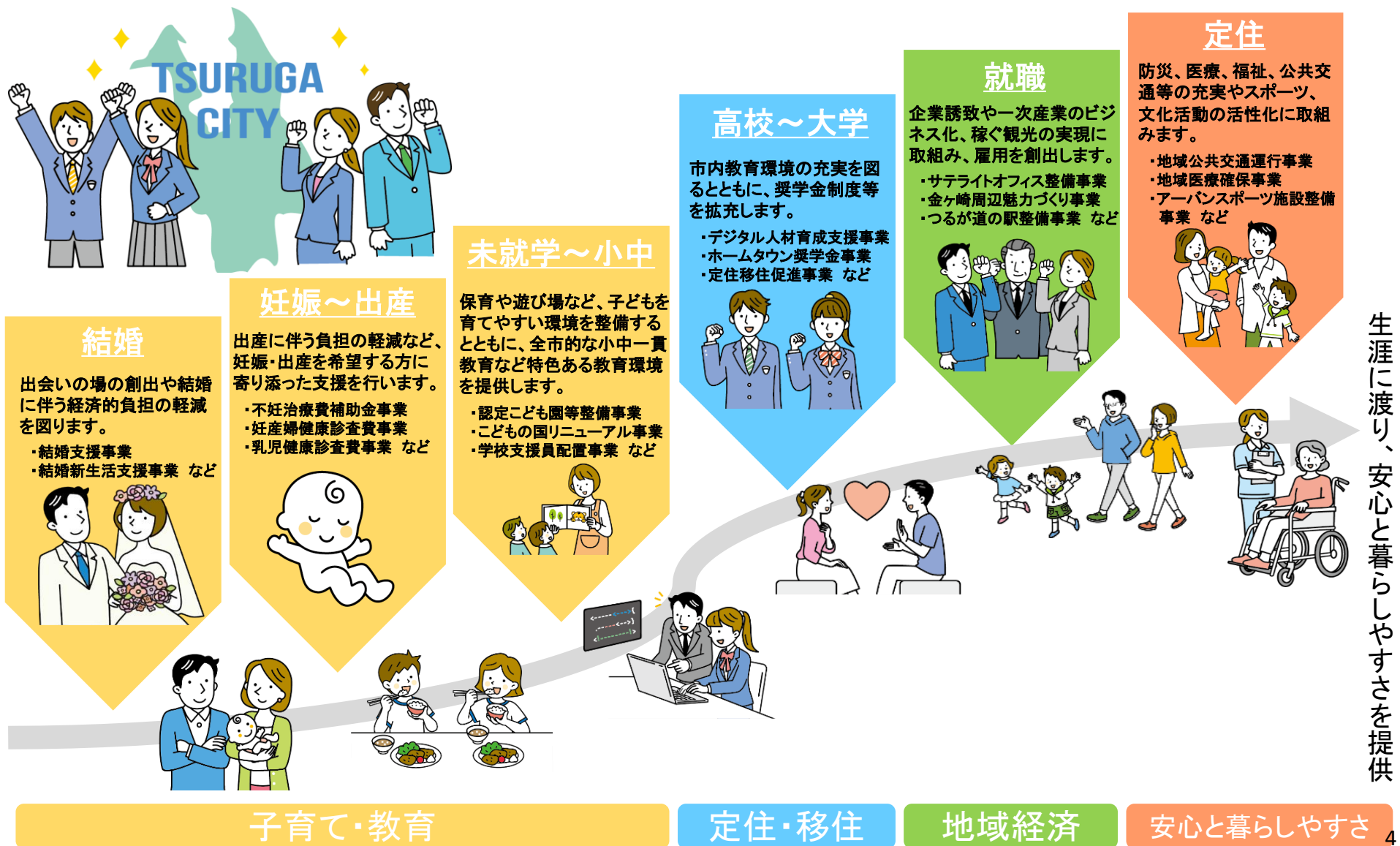
4 安心と暮らしやすさ



防災減災、医療、福祉、公共交通等の充実に取り組むとともに、スポーツや文化活動の活性化にも取組み、市民の誰もが、安心して、楽しく住むことができる環境を整え、定住志向の上昇を目指します。

政策テーマの方向性(ライフステージ)

○新しい総合計画に基づく取組を、市民の皆さんのライフステージ別に見ると、下図のようなイメージになります。



生涯に渡り、安心と暮らしやすさを提供

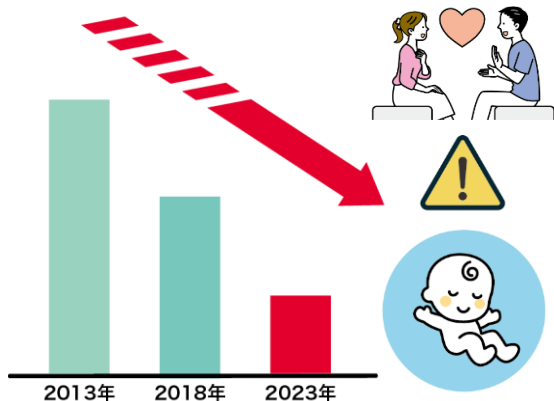
政策テーマに基づく 主な取組

子育ては敦賀でプロジェクト

【取組方針】

直近10年間で、有配偶率とともに、出生数が大きく減少し、自然減が社会減を上回るなど、人口減少が新たな局面に入る中、結婚支援や子育て支援に積極的に取り組むことで、生み育てやすい環境の提供を目指します。

10年間で有配偶率及び出生数がともに大きく減少



出会いの場等の結婚支援



仕事と子育ての両立支援

子どもの遊び場整備

結婚支援事業

マッチングアプリ利用支援、出会いの場創出等を支援

認定こども園等整備事業

待機児童ゼロの維持と希望する園への入園に向け、施設を適正配置

こどもの国リニューアル事業

子どもの遊び場を整備し、市内の子育て環境を充実

主な取組の例	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
DX 結婚支援事業	支援拡充	→	→	見直し	→
	8百万円	8百万円	8百万円	8百万円	8百万円
認定こども園等整備事業	基本設計等	実施設計等	新施設建設等	新施設建設等	適宜改修
	320百万円	370百万円	1,603百万円	650百万円	18百万円
こどもの国リニューアル事業	実施設計	展示製作・実施設計	供用開始(屋内) 遊園整備	供用開始(屋外)	→
	16百万円	165百万円	150百万円		

【取組方針】

敦賀の子ども達が、今後、デジタル社会及びダイバーシティ社会を生きていく上で、求められるスキルを身につけ、郷土愛を育むことができる教育環境の提供を目指します。

敦賀で育む教育



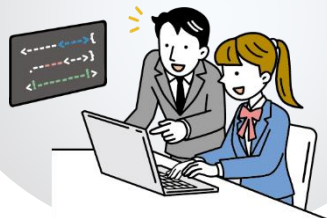
ふるさと教育の推進

敦賀の子ども達に、郷土愛を育み、帰属意識を誘起させる上で、ふるさと教育を推進

郷土愛を育む

デジタル教育の推進

小中高生を対象に、プログラミングを教える教室の開催等を支援。



プログラミングスキルの習得

英語教育の強化

各小学校に外国語活動支援員を配置し、英語教育を強化



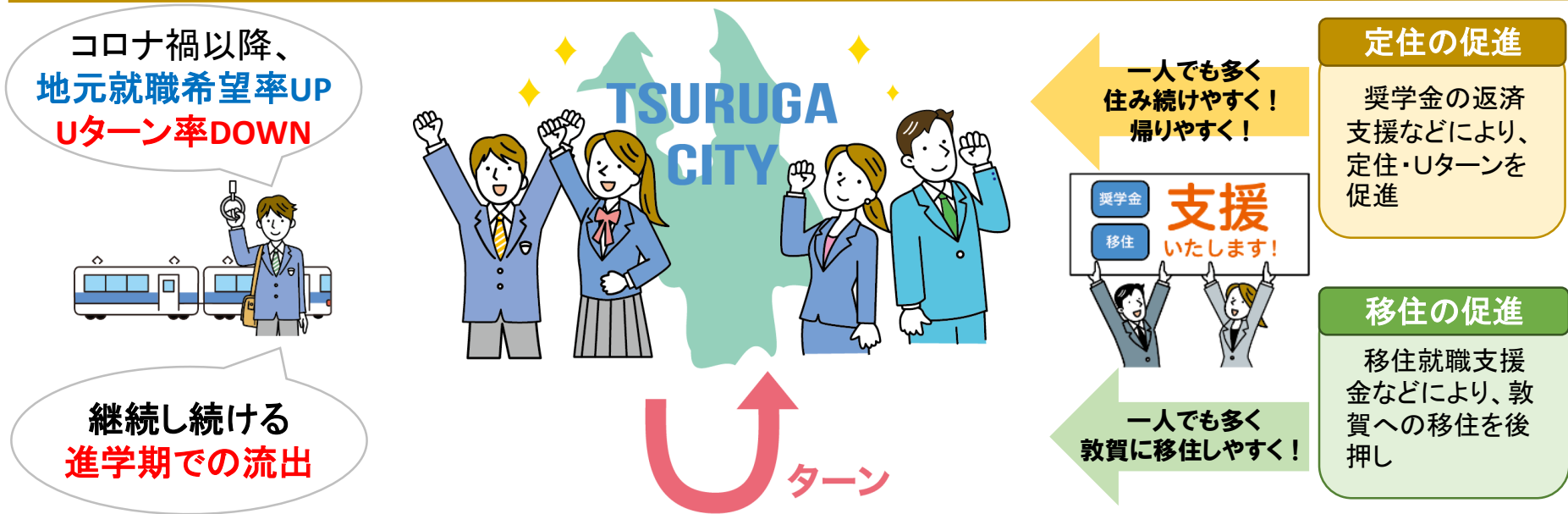
英語によるコミュニケーション能力を育む

主な取組の例	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
DX 嶺南Eコースト計画推進事業(デジタル教育推進)、デジタル人材育成事業	事業開始 19百万円	→ 19百万円	事業見直し 5百万円	→ 5百万円	→ 5百万円
学校支援員配置事業(英語力充実事業)	事業継続 5百万円	ネイティブスピーカー配置 9百万円	→ 9百万円	→ 9百万円	事業見直し 9百万円
地域教育コミュニティ推進事業	事業継続 8百万円	→ 8百万円	→ 8百万円	→ 8百万円	→ 8百万円

敦賀ですごすプロジェクト

【取組方針】

市内の人材の循環・定着に向け、社会減の主要因である若者の進学期・就職期をメインターゲットとした定住・移住施策を充実させ、一人でも多くの方が敦賀に住み続け、また、U・Iターンしたくなる環境を整えることで、定住移住の増加を目指します。



定住の促進
奨学金の返済支援などにより、定住・Uターンを促進

移住の促進
移住就職支援金などにより、敦賀への移住を後押し

主な取組の例	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
ホームタウン奨学金事業 (基金積立)、企業人材確保支援事業	奨学金:基金積立 人材確保:連携企業募集 760百万円	→ 人材確保:補助金交付 10百万円	→ 人材確保:補助金交付 13百万円	→ 人材確保:補助金交付 13百万円	奨学金:基金取崩(返還支援) 人材確保:補助金交付 63百万円
DX 定住移住促進事業	制度見直し 12百万円	→ 12百万円	→ 12百万円	見直し 12百万円	→ 12百万円
定住促進住宅改修等支援事業	支援継続 5百万円	→ 5百万円	→ 5百万円	→ 5百万円	→ 5百万円

敦賀を活かす産業プロジェクト

【取組方針】

北陸新幹線敦賀開業といった地域経済の新しいステージを迎える中、海陸交通の要衝という敦賀の産業特性の維持・向上を図り、高付加価値産業等の創出・誘致を目指す新しい産業団地の整備を検討するとともに、サテライトオフィスの誘致を進めることで、敦賀の人材の循環・定着を目指します。



主な取組の例	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
敦賀港貨物集荷推進事業	補助金交付	→	→	※鞠山南ターミナル拡張のタイミングで制度拡充を検討	
	77百万円	77百万円	77百万円	未定	未定
新産業団地整備事業	候補地検討	(整備の場合) 候補地調査等	(整備の場合) 設計等	(整備の場合) 整備	→
	未定	未定	未定	未定	未定
DX サテライトオフィス整備事業・企業立地促進補助金事業	補助金交付	→	→	見直し	→
	177百万円	未定	未定	未定	未定

【取組方針】

敦賀の豊かな自然に育まれた農林水産業について、新しい道の駅の整備検討による産業としての高付加価値化を進め、学校給食での地産地消による安定需要を創出するとともに、担い手の育成支援を進めることで、敦賀の人材の循環・定着を目指します。

稼ぐ産業としての出口戦略

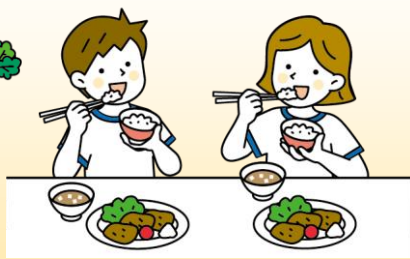
担い手の育成支援

敦賀の人材の循環・定着

高付加価値化

安定需要創出

担い手の確保



つるが道の駅整備事業

学校給食農水産物地産地消推進事業等

新規就農者育成支援事業等

産業そのものの高付加価値化を進める新しい道の駅の整備を検討

市内農水産物の学校給食での地産地消の推進

技術習得支援や設備支援など、新規就農しやすい環境を整備

主な取組の例	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
新規就農者育成支援事業等	事業継続	→	→	→	→
	8百万円	9百万円	9百万円	9百万円	9百万円
つるが道の駅整備事業	整備検討等	(整備の場合) 基本構想等策定	(整備の場合) 設計	(整備の場合) 整備	→
	13百万円	未定	未定	未定	未定
学校給食農水産物地産地消推進事業等	地産地消の推進	→	→	→	→
	12百万円	12百万円	12百万円	12百万円	12百万円

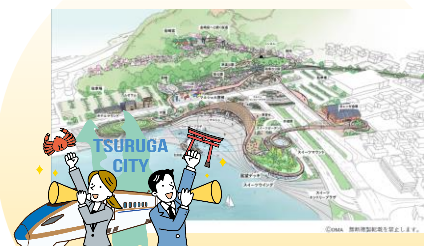
選ばれる観光、稼ぐ観光プロジェクト

【取組方針】

新幹線開業という好機を捉え、氣比神宮や金ヶ崎等の地域資源を活かした誘客施策を展開し、観光客から選ばれるまちを目指します。また、市内店舗の宿泊や飲食・物販等の魅力向上を支援するとともに、観光客を商店街等へと誘う導線づくりに取組み、「稼ぐ観光」の実現を目指します。

選ばれる観光の実践

魅力づくり



金ヶ崎周辺魅力づくり事業

金ヶ崎エリアに賑わい施設を整備し、エリアへの回遊性や観光機能を向上

観光と消費をつなぐ導線

二次アクセス



観光二次アクセス向上事業

観光客を観光地から商店街等へ誘う導線づくりを実施

稼ぐ観光の実践

消費の受け皿



店舗等魅力向上支援事業

誘客を促進する、魅力ある店舗への改修を支援

多様な宿泊施設整備支援事業

滞在観光客の受け皿となる、魅力ある宿泊施設への改修を支援

市民が活躍する
地域経済



主な取組の例	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
金ヶ崎周辺魅力づくり事業	用地取得 基本設計・実施設計	実施設計、施設整備(民・公) 神楽通り2車線化工事	施設整備(民・公)	供用開始	→
	594百万円	273百万円	4,191百万円		
観光二次アクセス向上事業	バス運行、シェアサイクル フリーバス発行	→	→	→	→
	22百万円	22百万円	22百万円	22百万円	22百万円
多様な宿泊施設整備支援事業・店舗等魅力向上支援事業	支援実施	→	→		
	175百万円	125百万円	105百万円		

楽しく住む敦賀プロジェクト

安心と暮らしやすさ

【取組方針】

あらゆる世代の方々が、楽しみながら、永く住んでいただくためには、仕事や教育環境と同じく、余暇の充実が非常に重要となります。そのため、市民の皆さんが楽しんで利用できる新たな施設の整備や文化活動等を支援し、敦賀に住む方々の余暇の充実を目指します。

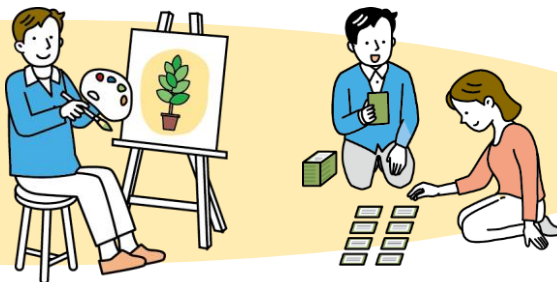
アーバンスポーツ施設整備検討事業

余暇の充実、健康増進等に向け、都市型スポーツを体感できる施設の整備を検討



文化芸術企画支援事業

自主的に催事を行う団体の育成を支援し、市民が文化芸術等に触れる機会を創出



楽しく住む
敦賀を実現

余暇の充実



主な取組の例	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
アーバンスポーツ施設整備検討事業	基本方針検討	課題整理等	未定	未定	未定
	6百万円	1百万円	—	—	—
文化芸術企画支援事業	補助金による支援	→	→	→	→
	6百万円	5百万円	5百万円	5百万円	5百万円

安心して住む敦賀プロジェクト

安心と暮らしやすさ

【取組方針】

地域医療を支える敦賀病院の機能充実や市民の健康づくり等を支援するとともに、高齢者や障がい者などの複合化したニーズへの包括的な支援の実施、公共交通の充実による交通弱者対策など、多様化する市民のニーズに対応し、市民誰もが安心して暮らせるまちを目指します。

地域医療の確保



包括的な支援の実施



公共交通の充実



主な取組の例	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
地域医療確保事業	医療機器充実 医師・看護師等確保	→	→	→	→
	644百万円	709百万円	710百万円	716百万円	713百万円
多機関協働事業 (重層的支援体制整備事業)	重層的支援体制推進会議等 の運営(多機関連携強化)	→	→	→	→
	2百万円	2百万円	2百万円	2百万円	2百万円
DX 地域公共交通運 行事業	導入条件の整理	実証	本格導入	→	→
	165百万円	未定	未定	未定	未定

安全になる敦賀プロジェクト

安心と暮らしやすさ

【取組方針】

防災・減災に資する取組を進め、市民の皆さんの安全安心を確保していくことで、敦賀市国土強靱化地域計画に基づく「地域と人のつながりを守り 持続性のある 災害に強いまち敦賀」を実現していくことを目指します。



地域と人のつながりを守り 持続性のある
災害に強いまち敦賀



日々の暮らしの安全確保
(空き家対策 等)



災害に備えた防災・減災
(道路改良、広域道路整備促進、笹の川水系整備促進)



市民への防災啓発

主な取組の例	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
河川改良・道路改良・ 橋りょう維持修繕等	事業継続	→	→	→	→
	151百万円	209百万円	178百万円	148百万円	149百万円
空き家等対策事業	対策計画改訂	空き家対策団体 (NPO等)の導入	→	→	空き家実態調査
	6百万円	8百万円	8百万円	8百万円	13百万円
地域防災マップ作成 支援事業	事業継続	→	→	→	→
	1百万円	1百万円	1百万円	1百万円	1百万円

成果目標と重要業績指標(KPI)

【成果目標】

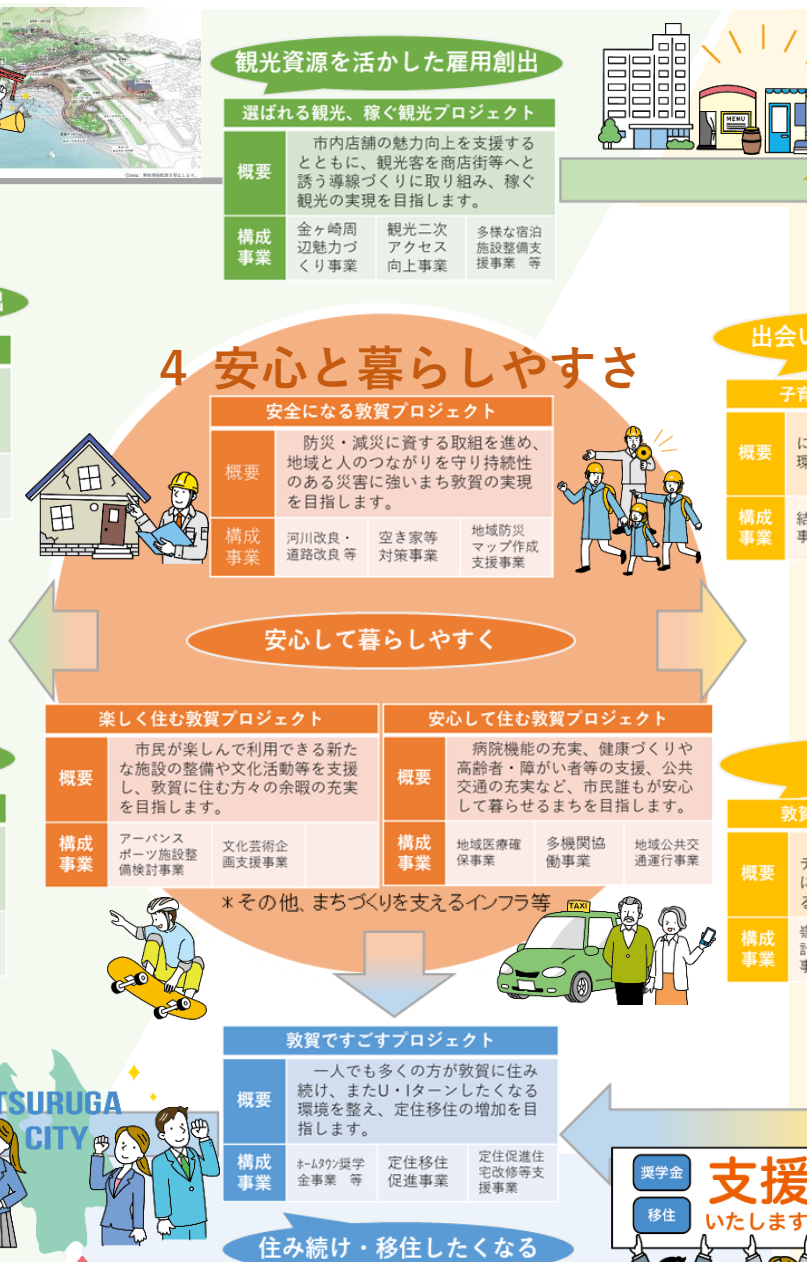
『将来を見据えた人口減少対策(好循環モデル)の実現』

ポイント!!

- 政策テーマが相互につながりをもって連携する中で、全庁的な人口減少対策を推進し、不断の見直しを実施
- 市全体でストーリーを共有し、官民連携の力で人口減少対策の取組を実施

政策テーマ	プロジェクト	重要業績指標(KPI)		
		内 容	現状値 (令和4年)	目標値 (令和10年)
1 子育て・教育支援	子育ては敦賀でプロジェクト	人口減少対策の初手となる出会いを促す結婚支援事業による新たな出会いの件数	—	50組(累計)
	敦賀で育む教育プロジェクト	プログラミング等の社会に求められるスキルを習得する機会を創出する教室等の開催件数	—	50回/年
2 定住・移住	敦賀ですごすプロジェクト	ホームタウン定住移住支援制度や奨学金制度等を活用し、敦賀に住む人の増加数	55人/年	100人/年
3 地域経済	敦賀を活かす産業プロジェクト	市民や移住者をはじめ、敦賀で住み、働く人のための雇用を創出する企業誘致等の件数	3件	8件(累計)
	一次産業の新ビジネス化プロジェクト	一次産業が稼げる雇用の場として機能するよう高付加価値化を進める道の駅の整備の是非を検討・判断	—	整備の是非検討・判断
	選ばれる観光、稼ぐ観光プロジェクト	選ばれ、稼ぐ観光の実践として、入込客1人当たりの観光消費額の増加	5,854円/人	6,800円/人以上
4 安心と暮らしやすさ	楽しく住む敦賀プロジェクト	新しい施設の整備等に取り組む、余暇を充実させ、敦賀に住み続けたいと思う人(25歳～39歳)の割合を増加	62.6% (R5時点)	62.6%以上
	安心して住む敦賀プロジェクト	著しい高齢化を背景とした増加する交通弱者の移動手段の確保のため、デマンド型交通の導入等を検討・判断	—	導入等を検討・判断
	安全になる敦賀プロジェクト	自助・共助に基づく地域防災力を強化するため、希望する自治会等の地域防災マップ作成・更新を支援	12地区/年	12地区/年

好循環モデルとプロジェクト一覧



観光資源を活かした雇用創出

選ばれる観光、稼ぐ観光プロジェクト

概要	市内店舗の魅力向上を支援するとともに、観光客を商店街等へと誘導導線づくりに取り組み、稼ぐ観光の実現を目指します。	
構成事業	金ヶ崎周辺魅力づくり事業	観光二次アクセス向上事業 多様な宿泊施設整備支援事業等

結婚支援や子育てで支援に取組み、生み育てやすい環境を整備

一次産業を活かした雇用創出

一次産業の新ビジネス化プロジェクト

概要	高付加価値化、地産地消による安定需要を創出するとともに、担い手の育成支援を進め、敦賀の人材の循環・定着を目指します。	
構成事業	新規農業者育成支援事業等	つるが道の駅整備事業 学校給食農水産物地産地消推進事業等

出会い・生み・育てやすく

子育ては敦賀でプロジェクト

概要	結婚支援や子育てで支援に積極的に取組むことで、生み育てやすい環境の提供を目指します。	
構成事業	結婚支援事業	認定子ども園等整備事業 子どもの国リニューアル事業

4 安心と暮らしやすさ

安全になる敦賀プロジェクト

概要	防災・減災に資する取組を進め、地域と人のつながりを守り持続性のある災害に強いまち敦賀の実現を目指します。	
構成事業	河川改良・道路改良等	空き家等対策事業 地域防災マップ作成支援事業

3 地域経済

敦賀港等を活かした雇用創出

敦賀を活かす産業プロジェクト

概要	新しい産業団地の整備を検討やサテライトオフィスの誘致を進め、敦賀の人材の循環・定着を目指します。	
構成事業	敦賀港貨物集荷推進事業	新産業団地整備事業 サテライトオフィス整備事業等

1 子育て・教育

教育環境の充実

敦賀で育む教育プロジェクト

概要	デジタル社会及びダイバーシティ社会で求められるスキルを身に付け、郷土愛を育むことのできる教育環境の提供を目指します。	
構成事業	嶺南E-COAST計画推進事業等	学校支援員配置事業 地域教育コミュニティ推進事業

安心して暮らすやすく

楽しく住む敦賀プロジェクト

概要	市民が楽しんで利用できる新たな施設の整備や文化活動等を支援し、敦賀に住む方々の余暇の充実を目指します。	
構成事業	アーバンスポーツ施設整備検討事業	文化芸術企画支援事業

安心して住む敦賀プロジェクト

概要	病院機能の充実、健康づくりや高齢者・障がい者等の支援、公共交通の充実など、市民誰もが安心して暮らせるまちを目指します。	
構成事業	地域医療確保事業	多機関協働事業 地域公共交通運行事業

*その他、まちづくりを支えるインフラ等

敦賀で過ごすプロジェクト

概要	一人でも多くの方が敦賀に住み続け、またU・Iターンしたくなる環境を整え、定住移住の増加を目指します。	
構成事業	ホームステイ事業等	定住移住促進事業 定住促進住宅改修等支援事業

奨学金 支援 移住 いたします!

敦賀で育った方が、住み続けることができる環境やU・Iターンしたくなる環境を整備

住み続け・移住したくなる

2 定住・移住

敦賀に住み続け、又は移住された方へ、地域資源を活かした雇用の受け皿を創出



新しい総合計画のマップ(大規模事業等の抜粋)



【敦賀港】
平成29年度から実施された拡張工事が令和5年度に完了。追加拡張工事が予定されており、更なる利便性向上が期待。



金崎宮

金ヶ崎緑地

【金ヶ崎周辺魅力づくり事業】

金ヶ崎周辺エリアに賑わい施設を整備し、エリアへの回遊性の向上や観光機能の強化を図ります。



【新清掃センター整備事業】

新しい清掃センターの整備を美浜町と共同で行い、工事費及び維持費の低減を図りながら、市民の利便性を向上させます。



敦賀港



【こどもの国リニューアル事業】

子育て環境の向上のため、子どもの遊び場となる「こどもの国」をリニューアルします。



気比の松原



神楽門前町の魅力向上

気比の杜構想



【新学校給食センター整備事業】

食物アレルギーへの対応等、児童・生徒に安全でおいしい給食を提供する施設を整備します。



店舗等魅力向上支援事業、観光二次アクセス向上事業、まちづくりプレーヤーによるイベントなど『駅からの導線づくり』



新学校給食センター文化財センター

今後具体化を検討する事業等 (エリア等未定含む)

つるが道の駅整備事業		道の駅整備に関する調査等を踏まえ、1次産業の高付加価値化や販売ルート開拓につながる施設整備を検討します。
新産業団地整備事業		市内に新たな投資と雇用をもたらす企業の誘致に向け、新しい産業団地の整備を検討します。
アーバンスポーツ施設整備検討事業		敦賀で楽しく暮らすことができるよう、都市型スポーツ施設の整備に向け、ニーズ調査や整備方針の検討を行います。
敦賀第2環状道路の整備		観光スポットや商業施設を新幹線駅前広場と結ぶとともに、市内での交通渋滞を緩和させるルートを構築することで、経済活性化や市民の生活利便性向上を目指します。
気比の杜構想		気比神宮周辺の土地・施設の活用方法を検討し、市内外の方が交流できる拠点としていくための検討を進めます。
神楽門前町の魅力向上		気比神宮の門前町である神楽通りの魅力向上を図り、市民や来訪者が商店街を訪れる仕組みづくりを検討します。

敦賀第2環状道路の整備



【北陸新幹線敦賀駅舎】

令和6年3月16日、北陸新幹線敦賀—金沢間開業。交通結節点という優位性をさらに高める新たな敦賀の玄関口。

地域別将来像(敦賀市都市計画マスタープランより)

松原地域

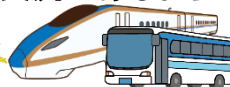
緑や田園と調和した
魅力ある文化・教育のまち



教育施設(看護大学) スポーツ施設(運動公園)

中郷地域

交通の要所を活かした
交流のあるまち



一次産業のビジネス化 交通利便性を活かした
快適な住環境の維持

粟野地域

豊かな自然環境と調和した
活力ある産業・物流のまち



物流拠点の形成 柴田氏庭園(リニューアル)

西浦地域

豊かな地域産業を活かしながら
安全・安心に暮らせるまち



一次産業のビジネス化 原子力産業との共存共栄

愛発地域

緑豊かな自然環境と
歴史・文化を受け継ぐまち



新正田駅交流施設(改修) 愛発舟川の里



東浦地域

豊かな自然の継承と
活気ある産業のまち



一次産業のビジネス化 第2産業団地

東郷地域

自然と調和し、交通結節点
機能を活かしたまち



交通利便性を活かした
地域活性化 自然資源の保全・活用

北地域

港町の文化を受け継ぎ、交流や
触れ合いのある暮らしやすいまち



金ヶ崎周辺魅力づくり事業 氣比の杜構想

南地域

敦賀駅を中心とした賑わいと
憩いの共存するまち



otta 中心市街地の賑わい創出

西地域

災害に強い快適な暮らしと、賑わい
や交流を生み出す魅力的なまち



笹の川水系整備促進 敦賀第2環状道路 17

* 敦賀市都市計画マスタープラン 地域別構想・地域別将来像より抜粋



敦賀市